

井戸小屋山・鍋倉山

大竹 幹衛

■山行年月日:平成 30 年 3 月 17 日

■メンバー:小沼充範 宮城市作

大竹幹衛



鍋倉山

3月17日 晴れ 今月の土日は好天の周期に当たり山に入る者にとっては嬉しい限りである。昨年の4月初めに小沼が同じコースで県境のP1077mまで登っているが鍋倉山までは届いていなかった。今回はその雪辱戦である。朝6時に小沼と自宅を出発、西会津町のコンビニで市作さんと合流した。

国道49号線を津川から左折して御神楽岳方面に向かう。合川より左折してどんづまりの棒目貫まで車で入る予定だが400m程手前で右側からの雪崩が道路を塞いでおり、ここから歩くことになった。8:33。除雪されていない所から山スキーで雪に埋まった林道を進む。一ヶ所ショートカットした。林道は長く、沼ノ峠山に見える所で一本立てる。10:00、林道は上の伐採地まで伸びている。途中から尾根に取り付きピーク越えた鞍部にスキーをデポした。11:18、標高約600

m、ここからは急登が続くからだ。ツボ足で歩いてみると雪面は硬く、あまり潜らない。以後、ずっとツボ足の行動でワカンを持参したが使わず仕舞いであった。足が潜らないので行動は速い。井戸小屋山902mは右側をトラバースしてザックをデポして空身で頂上を往復した。尾根の細い所は雪が付かず地面が出ている。道型がハッキリしていて年に何人かは通っている様だ。ルートは一旦鞍部に下ってP890mに登り返す。P890mから少し下った平坦地をテント場に決める。14:55。夕食はモツ入り肉鍋とカレーうどん。



県境 1077 西側の雪稜



鍋倉山への雪稜



談合峰の雪稜

3月18日 晴れ 昨夜の冷え込みはたいしたことなく、コッヘルの水が少し凍った程度であった。テントはそのままにサブ行動で6:13行動開始。目的の鍋倉山は目前である。県境のP1077mの手前が急登であったがブッシュが出ていて助かりました。P1077m7:30着。ここから鍋倉山までは部分的に細い雪稜がありましたが問題なく、8:28に山頂1137mに立ちました。北側の戸沢川源流部はもの凄い急角度で沢底まで落ちていました。眺望はすこぶる良く、越後

駒、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳～丸山岳の山並み、磐梯山、貉ヶ森山、御神楽岳、川内山塊、飯豊連峰と申し分ありません。山頂を8:40にスタートしてP1077まで戻り、今度は県境稜線を東側に進み、談合峰の手前のピーク9:35。ここから又、P1077に戻り往路を戻りテント場11:5着。テント撤収、パッキングを済ませて12:10出発。順調に下山してスキーデポ地13:55着。スキーを履いて伐採地に滑り降りた。ここから林道は適度な傾斜があり遅いスピードでしたが道路の除雪地点まで滑り降りた。14:50着。

帰り道、七福荘で温泉に浸かり汗と疲れを流してきました。天候に恵まれて楽しい2日間でした。

鍋倉山頂から見る飯豊連峰

